

10/17から

西宮渡辺病院にて、新しい診療科の外来が始まります！



西宮渡辺病院にて、新棟完成に伴い、10月17日（火）から新たに、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科の外来診療を開始します。

これにより西宮渡辺病院は在宅支援病院であり救急対応病院であると共に、様々な疾患を併せ持つ高齢者の患者さんに対しても、確実に専門性の高い対応が可能になります。

より、一層、地域の皆様の健康に寄与してまいりたいと思います。



耳鼻咽喉科

下記の症状のある方は、お気軽にご相談ください

- ・耳鳴り ・中耳炎 ・外耳炎
- ・めまい ・難聴
- ・アレルギー性鼻炎 ・花粉症
- ・副鼻腔炎 ・咽頭痛 ・風邪

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
午後 14:00~17:00	●	●	●	●	●	—

※ 予約なしでも受付します

眼科

下記の症状のある方は、お気軽にご相談ください

- ・目がかすむ ・ぼやける ・まぶしい
- ・急な視力の低下 ・眼底出血
- ・視野狭窄（見える範囲が狭くなった）
- ・黒いものがみえる（飛蚊症）

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	依藤	依藤	依藤	依藤	担当医	担当医

※ 予約なしでも受付します

歯科口腔外科

下記の症状のある方は、お気軽にご相談ください

- ・歯がズキズキする ・歯がぐらぐらする
- ・歯がしみる ・噛むと痛い
- ・入れ歯があたって痛い ・口内炎
- ・口が開けにくい ・口の中に硬いしこりがある

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	森寺	森寺	担当医	森寺	森寺	森寺

※ 予約なしでも受付します

形成外科・美容医療センターからのお知らせ



当法人の形成外科・美容医療センター長の梶月 玲子 医師がメディカルノート社のホームページにて「**原発性腋窩多汗症**」のテーマで掲載されました。

秋になり、暑さも和らいできましたが、日頃、腋汗でお困りの方が多いのではないのでしょうか。そのような方に向けて、梶月医師よりわかりやすく解説しており、お役に立てる内容になっています。是非、ご覧ください。



法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院
西宮わたなべ内科 / 心臓リハビリクリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / 介護老人保健施設ハートケア西宮わたなべ / グループホームてまりの家 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり
すくすく保育 わたなべ / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション / 健康塾
通所リハビリテーション / 居宅介護支援センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 西宮市中央在宅療養相談支援センター
- 社会福祉法人 高明会 / 特別養護老人ホーム シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階諸所・1F受付に設置しております 「ご意見箱」 をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】 0798-74-2630 【FAX】 0798-74-0199
 【URL】 <http://www.n-watanabe-hosp.jp/>



わたなべニュース

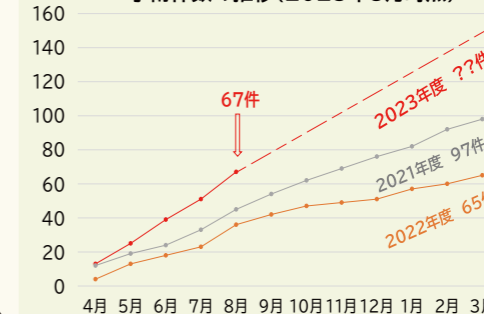
Nishinomiya Watanabe Hospital Public Relations Magazine

西宮渡辺病院 消化器外科 ご紹介

2023年4月、西宮渡辺病院外科は兵庫医科大学下部消化管外科から外科医師2名が加わり、装いも新たな新体制となりました。手術症例は7月現在、月間1.5倍を上回る状況となっています。新しい手術器具、術式も導入し、緊急体制も含めて大きく変わった外科の状況を消化器外科部長の竹中医師より紹介いたします（岡田）。

はじめまして!! 2023年4月から西宮渡辺病院消化器外科に着任しました竹中雄也と申します。現在、われわれ消化器外科は岡田副院長に私と西原医師を加えた3名体制で診療に当たっています。人員が増えたことで4月以降、毎月13~15件程度の全身麻酔手術を実施しており、症例は胃癌や大腸癌などの悪性疾患はもちろん、鼠径ヘルニアや胆石症などの良性疾患、消化管穿孔や腸閉塞などの急性腹症と多岐に渡っています。ほとんどの手術は開腹手術ではなく、手術後の早期回復が見込まれる腹腔鏡手術を実施しており、新たに最新の腹腔鏡装置（日本 Stryker 1688AIM 4K カメラシステム）を導入することでより精度の高い手術ができるようになりました。また外科病棟のスタッフや皮膚・排泄ケア認定看護師の田中師長にご協力いただきストマケアも対応可能です。

手術件数の推移(2023年8月時点)



1688AIM

救急医療にも重点を置き、救急総合診療科の坂口治先生、消化器内科の牧野哲哉先生と毎朝のモーニングカンファレンスを実施しながら、腹部救急疾患への対応を強化しています。また6月からは消化器外科ホットラインを設置し緊急手術への対応もスムーズになっています。

モーニングカンファレンス



今年の厚生労働省の統計では、我が国の平均寿命は男性が81歳、女性が87歳となっています。かつては病気が見つかったら高齢だからと手術を勧めないこともありましたが、現在では90歳、95歳でも手術を受けて元気に退院される方がたくさんおられます。悪性腫瘍や急性腹症など命を危機に晒す病気はもちろん、痔や直腸脱、鼠径ヘルニアなど命の危機はなくても生活の質を下げる疾患についてもぜひ一度ご相談ください。

消化器外科の手術は日々進歩しており私が医師になってからもずいぶん変化しました。開腹手術から腹腔鏡手術が主流になり、今後はロボット手術の時代が来ると思います。西宮渡辺病院でも時代に遅れないよう最新最適な医療を提供できるよう日々努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 心臓血管外科 ～「新体制と心臓血管外科手術の現況」～

平成 20 年 1 月に心臓血管外科部門を開設し、院内外問わず沢山の方々のお力で、阪神南地区の中核医療機関と成長しました。その責任を真摯に自覚しつつ、当地域における救急医療や地域医療に対して高度な医療を提供し続けたいと考えております。

心臓血管外科体制は、大動脈センター：中尾佳永先生、末梢血管担当：畑田充俊先生に加え、今年度から平井康隆先生、原口知則先生が赴任され、一層、診療内容の充実が認められました。

心臓血管外科専門病院として、日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本血管外科学会と国内主要 3 学会構成 心臓血管外科専門医認定

機構 基幹施設を取得し、大阪大学 澤芳樹 前教授、宮川繁 教授、兵庫医科大学 坂口太一 教授、岡山大学 笠原真吾 教授と錚々たる先生方からの指導も受け、常に情報をアップデートしつつ、教育・臨床・研究にも一層、力を入れております。

近年、患者層の急速な高齢化や重症化により、従来からの Open Surgery だけでなく、胸部・腹部ステントグラフト留置術をはじめ、小開胸下低侵襲手術：僧帽弁形成術、大動脈弁置換術、冠動脈バイパス術（MICS-MVP, AVR, CABG）や経カテーテルの大動脈弁置換術（TAVI）により治療の幅を広げております。当センターは、日本低侵襲手術学会（J-MICS）認定代議員施設を取得（国内 200 施設）し、今後も、患者社会のニーズに照らし合わせつつ、先進医療を施行したいと考えております。（図 1、2）

図 1. Open Surgery 及びステントグラフト留置術



図 2. 小開胸下低侵襲手術（MICS-MVP, AVR, CABG）

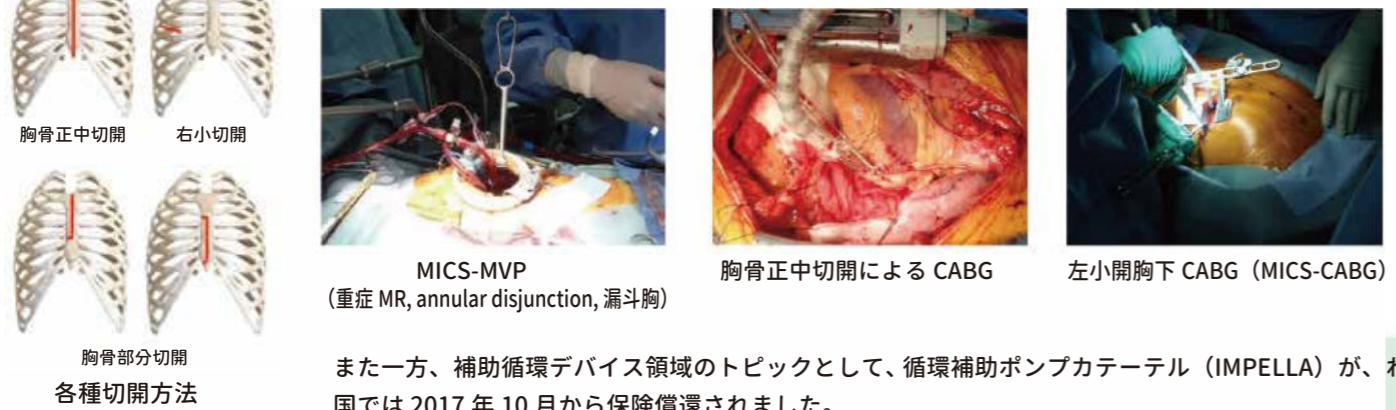
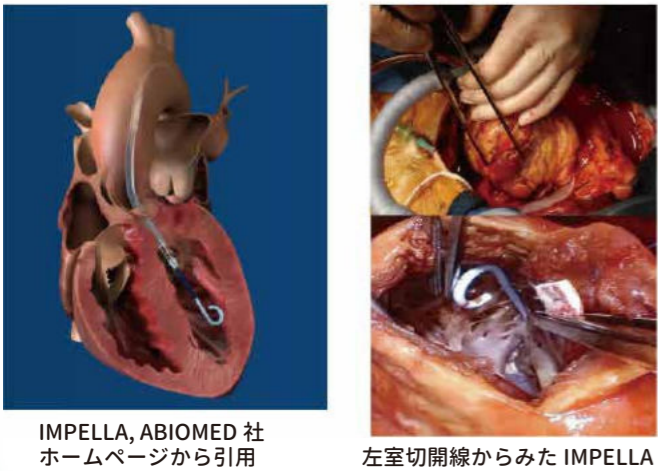


図 3. IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル



当センターでも早々から導入し、急性心筋梗塞や心筋炎などの重症心不全症例や外科治療を要する心筋梗塞後機械的合併症①心室中隔穿孔②乳頭筋断裂③左室破裂などの薬物抵抗性心原性ショックに対して有効とされております。経皮的挿入が可能な小型軸流ポンプで（最小型 IMPELLA CP: 3.5 l/min, IMPELLA 5.5: 5.5 l/min）、左室内から大動脈に直接血液を駆出し、循環補助及び左室 unloading が可能な点が特徴で、J-PVAD registry でも良好な成績を示しており、特に術後の Bridge to Recover としての働きも期待されております。（図 3）

目まぐるしく変化する世の中で、医療を取り巻く情勢も変化を見せしており、これからも皆様のご指導ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

（吉田 和則）

部署紹介



西宮渡辺心臓脳・血管センター 臨床工学科

西宮渡辺心臓脳・血管センター臨床工学科についてご紹介します。

病院の中には医師や看護師の他に、レントゲン・CT・MRIなどを扱う診療放射線技師、血液や細菌検査・心電図や脳波などの検査を行う臨床検査技師、リハビリテーションを行う理学療法士が働いています。ここでご案内する『臨床工学技士』も病院で働く医療技術者です。医師以外の診療補助に従事する看護師や各種の医療技術者のことをメディカルスタッフと呼んでいます。臨床工学技士は、メディカルスタッフの一職種であり、現在の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストです。今後益々増大する医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。

当科は臨床工学技士が 16 名所属しています。業務は多岐にわたり様々な場面で 24 時間 365 日、チームの一員としてより安全・安心な医療の提供を目指し日々研鑽しています。

【業務内容】

- 心臓血管外科業務：人工心肺装置など操作及び保守管理（当センターには人工心肺操作を専門とする体外循環技術認定士が 3 名在籍しています）
 - 循環器業務：心臓カテーテル、ペースメカなど植込みデバイス、アブレーションなどに使用する機器の操作（当センターにはカテーテル専門技士 1 名、不整脈専門臨床工学技士 1 名が在籍しています）
 - 集中治療業務：人工呼吸器操作及び保守点検、人工透析など血液浄化に使用する機器の操作（当センターには呼吸療法認定士 1 名が在籍しています）
 - 脳神経外科業務：術中神経モニタリング、ナビゲーションシステム操作
 - 漏胸手術業務：直接介助、リージョンジェネレーター操作
 - 補助循環業務：ECMO、IABP、IMPELLA 操作及び保守点検
 - 機器管理業務：輸液ポンプ、シリンジポンプ、生体情報モニターなどの操作及び保守点検
- これからも安全かつ良質な医療の提供を目指し精進していきたいと考えています。

（臨床工学科 統括部長 伊藤 健二）



DXA（骨密度検査）装置を更新しました

西宮渡辺病院では、DEXA（DXA）法による骨密度測定装置を設置しており、腰痛や骨折の原因となる「骨粗鬆症」の診断を行っています。この度、新たに最新鋭の DXA 装置に更新し、患者様には、より安全に、より正確かつ迅速に行うことが可能となりました。

◆ 低被ばく・短い時間で患者さんにやさしい検査を提供

腰椎・大腿骨近位部の測定時の入射線量は 37μGy です。これは通常の胸部一般レントゲンの約 1/6 程度に相当します。

◆ 正確な測定が叶える、高画質と高い再現性

スキャンチェック機能により、変形や圧迫からくる測定値の異常や特殊な解析手法を操作者に知らせることにより測定値の信頼性を高めます。

◆ 快適な検査と解析で、高いスループットを実現

OneScan 機能、オート解析によって効率よく検査ができます。



PRODIGY Fuga
GEヘルスケア・ジャパン(株)

新任医師 ご紹介

西宮渡辺病院

メンタルヘルス科

佐々木 祥子

ささきしょうこ

9 月より心療内科常勤医として赴任しました佐々木祥子です。大学病院や関東の病院で児童精神医学を学んだ後、関西労災病院で一般精神科外来と並行しながら児童思春期専門外来と精神科リエゾンチームの立ち上げを行い、9 月に地元西宮に戻ってきました。

今までの経験を生かして、地域の皆さんに少しでも力になればと思います。よろしくお願ひします。

専門分野 児童精神医学

- 資格認定医
- ・精神保健指定医
 - ・日本精神医学会 専門医・指導医
 - ・子どものこころ 専門医
 - ・日本児童青年精神医学会 認定医
 - ・一般病院連携精神医学特定指導医
 - ・臨床研修 指導医
 - ・緩和ケア研修会 修了